

岩手県金融経済概況（2020年11月）

1. 概況

県内経済は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。公共投資は、緩やかに増加している。住宅投資は、減少している。設備投資は弱めの動きとなっている。

生産は、持ち直している。労働需給は、弱めの動きとなっている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

百貨店売上高（全店舗ベース；2020年10月）は、13ヵ月振りに前年を上回った（前年比+10.2%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2020年10月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+7.4%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2020年11月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+6.3%）。

この間、サービス消費での新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、厳しい状態にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2020年11月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+14.4%）。

新設住宅着工戸数（2020年10月）は、6ヵ月連続で前年を下回った（前年比△37.4%）。

—— 持家（前年比△17.6%）は3ヵ月振りに前年を下回った。貸家（同△52.0%）は2ヵ月連続で前年を下回った。分譲（同△57.0%）は3ヵ月連続で前年を下回った。

民間設備投資（2020年12月短観ベース；2020年度計画）は、前年を下回る計画（前年比△26.8%）となっている。

—— 製造業（前年比△24.5%）、非製造業（同△29.5%）とも、コロナ禍による収益悪化を背景として、不要不急の投資を先送りする先がみられたことから、前回調査（9月短観）比減少幅が拡大する計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2020年10月）は、16ヵ月連続で前年を下回った（前年比△4.4%）。

3. 生産動向

生産は、持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；2020年9月）は、2ヵ月連続で前月を上回った（前月比+6.4%）。

—— 主な業種の動きをみると、輸送機械、生産用機械、電子部品・デバイスが上昇した一方、食料品、窯業・土石製品が低下した。

なお、四半期の動きをみると、2020/7～9月は3期振りに前期を上回った（2019/10～12月：前期比+2.1%、2020/1～3月：同△5.9%、4～6月：同△10.7%、7～9月：同+1.2%）。

4. 雇用・所得動向

労働需給は、弱めの動きとなっている。

有効求人倍率（季節調整値；2020年10月）は、1.03倍と前月を上回った（2020年9月は1.00倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2020年10月）は、10ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.8%）。

雇用者所得（県内合計値；2020年9月）は、常用雇用指数（前年比+0.4%）が前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△1.3%）が前年を下回ったことから、3ヵ月連続で前年を下回った（同△0.9%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2020年11月）は、5ヵ月連続して前年を下回った（前年比△1.1%）。

内訳をみると、食料、諸雑費、住居が上昇した一方、教養娯楽、光熱・水道、交通・通信などが下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2020年11月）は、3件、229百万円（前年同月；2件、260百万円）と、前年と比べて、件数は増加したが、金額は減少した。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2020年10月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2020年10月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

